

2019年5月号

NO. 1 3 3 (継続 2 7 8 号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 http://www.forest-kanagawa.jp 発行人 久保 重明 〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TE046-297-0301・Fax046-297-0302



🜏 赤ちゃんと、ともにはぐくむ森づくり



平成30年度(2018年度) 成長の森 植樹会 が開催されました

参加人数:297名(内 子供113名)

場所:南足柄市内山県立21世紀の森 日:2019年3月9日(土)天候:快晴

<記:小野 雅一 15期>(写真:上田 啓二 10期)

家族みんなで植樹し⇒植樹した木は成長し⇒やがて大きな森林に





平成30年度植樹会が平成31年3月9日南足柄市21世紀の森にて快晴の空のもと開催されました。今年 度の名前刻印板に記載の子供数は218名(昨年度195)、参加者297人(同188)、うち大人184人(同11 5)、子供113人(同73)と昨年度より大幅な増加となりました。

今年の苗木は神奈川県産の無花粉杉2年物のコンテナ苗で、360本と29年度補植用に40本計400本 が用意されました。

10時少し前にはマイカーでの最初の家族が到着し、その後続々と、11時ころには送迎バスも到着して会 場は大勢の家族で溢れ子供の元気な声が響きました。各家族は到着するとまず名前刻印板に記載されて いる子供の名前を確認し、家族ごとの記念写真を撮った後、インストラクターに従って鍬(クワ)と苗木を一人 一本ずつ持って植樹地の山の斜面を登っていきました。お父さんが穴を掘り、子供が苗木を穴に入れ、お 母さんが土をかぶせる姿があちらこちらで見受けられました。インストラクターも植樹指導ののちカメラマンと なり、その姿を家族のスマホで撮影したりしました。緑の少年団も29年度植樹地の補植作業に参加してくれ ました。皆、苗木の生育と子供の健やかな成長を願い、満足そうな笑顔で植樹を終えました。



子供の名前刻印板の前で 記念写真



植樹する苗と 植樹の仕方説明



お父さんが穴堀りをし 子供が苗を穴に入れ お母さんが土をかぶせ



あちらこちらでも

今年度は無花粉杉のミニ講演会も開催され、植樹後の各家族は講演会、パネル展示、丸太切り体験、木 エクラフト、緑の募金などにも参加し、豚汁やバナナカレーに興じました。

大勢の参加者に対し、スタッフ、インストラクターの協力の元、平成30年度植樹会は成功裏に終りました。



緑の少年団がみどりの募金活動をしてくれました。 また、捕植作業もしてくれました。



新道具の大大ノコギリが登場し 丸太切りを行いました。



食事、団欒風景

インストラクター:

 L上田⑩
 加藤①
 柏倉④
 宮本④
 齋藤⑥
 渡部⑦
 有坂⑧
 久保⑧
 齋藤⑧
 鈴木⑧
 小沢⑨
 村井⑨

 大澤⑪
 杉崎⑩
 宮下⑩
 湯浅⑪
 福島⑪
 吉田⑪
 松永⑪
 木村⑭
 黒川⑭
 小松⑭
 水野⑭
 小野⑮
 森⑮

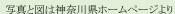


森林文化部会 **『体験・見学会活動』** が開催されました。 観察対象:水に関わる施設三保ダム(丹沢湖)

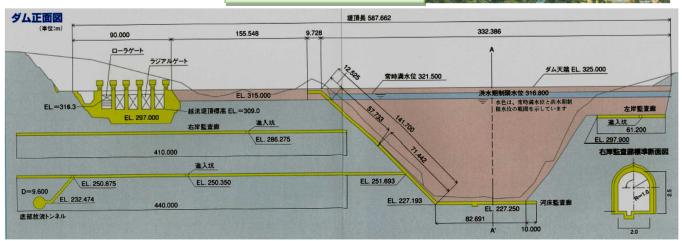
日時:平成31年3月13日(土)、晴れ 参加者:18名 場所:足柄上郡山北町

< 小笠原 **多加子 10期**> (写真: 松本 保 11 期)

朝 8 時に新松田駅に集合し、一路バスで丹沢湖に向かう。湖畔はミツマタの花が咲いており春の訪れを感じた。会議室において職員の方から三保ダムの概要についての説明を受ける。昭和 46 年から昭和 53 年までの 8 カ年継続事業として築造され、昭和 53 年 2 月 28 日から貯水を開始したので丁度 40 年を経過した。三保ダムは洪水調節・水道用水・発電の多目的ダムである。岩石や土砂を積み上げて建設するというロックフィルダムである。







説明後は外に出てダム堤体を歩き洪水吐に向かう。今年は冬場には珍しく水量が少ないそうだ。高さ 13mの 洪水吐の設備を見学する。湖面からの高さに足がすくんでしまう。長い坂道を下り、ダム広場へ。ヘルメットを着用 して監査廊の見学をする。蝙蝠(コウモリ)が我々を歓迎してくれた。

監査廊とはダムの堤体内部に備わる管理用の通路のことである。 監査(検査・点検、測定)やゲート操作、排

水、インクライン作業などに用いられている。ふだんはなかなか入ることができない場所 なので参加者は興奮気味であった。約2時間半の見学の後ダム広場で昼食をとる。

帰りのバスが 15 時までないので参加者のほとんどは 7 キロの道を春を楽しみながら 谷峨駅に向かった。

三保ダムは観光放水をしていないが台風などの大雨後には放流することが多いので ■ 管理事務所に問い合わせするとみられるそうだ。 おみやげにはダムカードを頂きました。



ダムカード(裏面)



管理事務所前で オリエンテーション



三保ダムの概要説明を受ける



ダム堤体を歩き洪水吐に向かう



洪水吐の設備 下を見ると高さに足が竦む↓

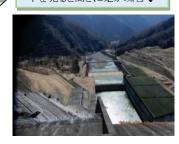


20 4.02 1.3 11



参加者 白畑⑦ 阿部⑧ 草野⑧ 内野⑨ 水津⑨ 大澤⑩ 小笠原⑩ 杉崎⑩ 福島⑪ 吉田⑪ 松本⑪ 真目⑪ 石川⑫

福島⑪ 吉田⑪ 松本⑪ 真貝⑪ 石川⑫大原⑬ 牧石⑭ 水野⑭ 末原⑮ 飛田⑮



長い坂道を下り、ダム広場へ



進入坑





かながわ森林インストラクターの会は 緑の募金の支援団体としても取組んでいます。 全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。 やどりき事業部会 平成30年度 第3回

「やどりきの森へいこう!群性するミツマタの開花を観察」

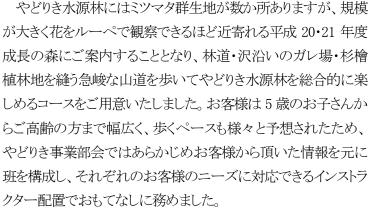
場所: やどりき水源林 日時: 平成31年3月16日(土) 8:30~14:00 晴れのち曇り

<記 飛田 尚弥 15期> (写真 水口 俊則 9期、髙橋 修 9期)

早春のやどりき水源林恒例、「やどりきの森へいこう! 群生するミツマタの開花を観察」イベントが3月16日に開催されました。天気予報では午後からの雷雨が心配されたものの、下山して昼食になるまで、ぽつぽつ落ちてくることはありませんでした。参加者38名の皆様の日頃の行いの賜物に感謝です。



事故防止に散策開始前の軽い準備体操。 安全なご案内を心掛けました。





水源林と成長の森についても ご説明しました。



ムササビの生活をご紹介。



芽鱗が開き始めたリョウブの冬芽を観察。 この季節にだけ見れる帽子? それとも冬芽のダンス? 「かわいい!」

幸い事故もなく、皆様から「楽しかった。」「こんな素晴らしい森があるんですね。知らなかった。」「また来ます」のアンケート回答を頂戴し、スタッフ一同感激しております。今回のお客様はほとんどが新聞やタウン誌の一般マスコミ情報をみてお申し込みされた方々で、当会の活動を殆どご存じありません。やどりき水源林の知名度がまだまだ低い状況を再認識し、やどりき水源林からのより一層の情報発信に努めるべく、インストラクターが心を新たにするイベントになりました。



決定的アングルを求めて…

2019年度のミツマタ観察は2020年3月14日開催を予定しております。 ミツマタの典雅な香りとムササビのお茶目な「食い散らかし」跡に癒やされ てみませんか?メール・往復はがきでご予約を受け付けます(先着50名)。みなさまのお越しをお待ちいたしております。





活 動 短

(AD2018.H30.11 月の掲載洩れ分も掲載) 今回の掲載 AD2019.H31.3/11~H31.4.6 寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降 の掲載になるものもあります。



フリーイラストより



桃始笑 3/10~3/14頃 ももはじめてわらう 桃の花が咲き始める 第八候 啓蟄 次侯

玄鳥至 4/5~4/9頃 つばめきたる 燕(玄鳥)が南から飛来する 第十三候清明初侯

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明 ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。 (できれば Word、メール直筆でも OK。 Excel はできるだけ 避けてください。改行等の処理に手間を要しますので) 写真もあれば1枚添付ください。

◆ 活動団体·活動名 等

日付(できれば時間と天気も)

場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)

参加者 人数

神奈川県 環境農政局 緑政部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財(公財)かながわトラストみどり財団、看 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会·XX様

イ インストラクター (○数字:期) 研:研修枠 以下の本文を概ね400字前後を目安として執筆ください リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェック をお願いします。(執筆者もお忘れなく!!)

▶ 富士通エフ・アイ・ピー株式会社 間伐体験・自然散策・経路づくりなど

|日 H30年11月10日(十)、晴れ

場。足柄上郡山北町世附字影山

参 99名

県 中田様、 高橋様

1 L上田⑩

間伐: 大道⑥ 有坂⑧ 小沢⑨ 松山⑩ 小笠原⑩

松本① 坂井⑤ 木村⑭

経路: 小野⑦ 草野⑧

花炭: 菊地① 福島① 真部③

アロマ、ヨガ: 真貝(1) 稲野辺(3) 小林(4)

ヨガインストラクター:ロサリンダ川口さん

前日の降雨もおさまり晴天の朝を迎えた。早朝から世附 森の仲間たちのフィールドで実施するアクテビティの準備 を行い活動に備えた。予定通り参加者(総勢99名)は現 地に到着した。いつもの通り活動フィールドの前で開会 式を行い、その後各活動班に分かれてスケジュールに沿 って活動が開始された。今回の活動は参加者が多いことも ありますが、活動内容も豊富で、何回も打ちあわせを重ね 準備を行ってきました。今回この活動に初めて参加した人 は約半数でした。活動が始まる前に班毎で記念写真を撮 り現場に向かった。

間伐体験:8班編成で各班2本の選木をしていたが、 時間不足により6班は1本しか処理できませんでした。活 動時間が1時間と15分程度しかなく、2本の間伐には無理 があり、今後の課題として検討が必要であると感じました。 処理に苦労をするような掛り木もなく無事間伐作業を終え ることができた。

径路づくり:2回目の活動であり枝条に埋め尽くされたか つての経路を掘り起こし、枝条の整理と径路幅に横丸太を 設置して、予定の50m程度の経路が修復された。林内の 経路とその周辺が整理されてきました。とても歩きやすい 経路が出来上がりました。

自然観察・花炭づくり班:源五郎沢林道の自然観察を行 いながらフィールドに向かい、事前に準備されていた自然 素材を使って飾炭を作った。時間不足になって一部未炭 の状況になった班もあり、時間配分のコントロールが必要 だと感じました。

アロマオイル・森林ヨガ班:ヒノキのアロマオイルの抽 出を行った。素材のヒノキの葉を蒸留機に準備し加熱抽出 時間にヨガ体験を行った。ヒノキのアロマオイルはスプレ 一瓶に入れて森の香りとして持ち帰っていただきました。

森林ヨガのアクテビティは初めてであるが、参加者は世 附川の清流の音を聞きながら、柔らかな陽光を浴びゆっ たりとした自然の中でのヨガを楽しんでいました。天気も 良かったせいもありますが、活動時間が不足気味でしたが 最大のパーホーマンスができ、参加してくださった人も満 足していただけたと思います。

(記 上田 啓二 10)



ホームページでご覧ください。http://www.tanzawasaisei.jp/

◆ 富士通株式会社 神奈川支社

日 H30年11月17日()10:0~12:00、晴れ

場南足柄市塚原水源林

参 26 名 [中学生1名4歳児2名 含]

県 中田様 高橋様

✓ L 小笠原⑩ 齋藤⑧ 上田⑩ 石井裕⑮

3日前の予報では90%雨。間違いなく中止だろうと緊張の糸が切れてしまった。しかし前日に予報が急変。開催決定の連絡が入り、急いで間伐マニュアルを開き、おさらい。当日は100%の秋日和。少し気持ちがドタバタした中での本番でした。

塚原の現場は、最大で元口約20センチ樹高約10m未満の空が全く見えない檜林でした。

参加者様26名を3グループに分けて林内へ。4歳児から40~50代までメンバーの姿もいろいろでした。小さいお子さんや中学生も大人に負けず元気いっぱいです。

まずは安全第一に一本の檜を最後まで処理をする事が 目標ですと皆さんに伝え作業開始。

幸いマニュアル通りに作業が進められそうな1本に出会い、木掛かりもなく伐倒完了。枝打ち、玉切、コースター作り。男性陣より女性陣の方が率先して作業をする姿も。皆さん作業後には徐々にこの荒れた森林に関心を寄せていましたが、やはりそれ以上にこれから向かわれるビール会社の事に関心がある御様子の男性陣でした(笑)。

(記 石井 裕 (15)

◆ 小田原市環境学習推進事業 水源林保全再生活動等の学習

日 H31年3月11日(月)8:40~12:30、雨(強風)後晴れ

場 小田原市矢作小学校 理科室

スタッフ 小田原市環境政策課 鈴木様、

農政課 伊藤様(1時間のみ)

7 L松本(I)

3/6(水)に事前打ち合わせ、確認等を行った。

3/11 当日の朝は大荒れでマイカーが軽の私の車は高速では風で横に動くくらいだった。時間が心配なので家を早く出て、小田原東PAで時間調整をした。学校へはそこから10分足らずあった。

授業時間は45分 初めの5分は先生から紹介等、講話30分、質疑応答:5~10分の予定で進めた。

- ○対象 小学5年生 3クラス(各28~29名)
- ○1 時限目クラス②8:45~9:30、
 - 2時限目クラス①9:35~10:20、
 - 3 時限目 10:40~11:25 松本が 6 年生の授業を見学、 4 時限目クラス③11:30~12:15
- ○場所:理科室 インフラ: TV47 インチを HDMI ケーブル 5mでパソコンとつなぎクローン映像で行った。 TV コネクター受け口が下見時に接触が悪かったので接点復活剤を持参し対応した。

【講話内容】主に会員のホームページにあるパワーポイント(「森のお話」小学生 中高学年用)を中心で行った。

1.簡単に地球環境について(1967と2017年の川崎の写真を見せ 汚した事→綺麗にした事。1967年のスモッグのカラー写真でしたがモノ黒にしか見えないのと煙突から沢山の煙がでているのに生徒達は大変驚いていた。



1967年の川崎



2017年の川崎

地球の歴史と産業革命から大きく地球を汚した事。その中から温暖化→炭酸ガス→地球温暖化→炭酸ガスを減らす →森林が炭酸ガスを吸収 と説明し次の森林へ。

2.本題の森林の働きについて 12の機能例を講義

ア. 水を蓄え徐々に流し、渇水や洪水を防ぐ イ. 土砂崩れや落石を防ぐ ウ. 炭酸ガスを吸収し、酸素を放出する エ. 空気をきれいにする オ. 気温の変化を少なくする カ. 強風や砂、塩分が飛んでくるのを防ぐ キ. 騒音を和らげる ク. 野生生物のすみかとなる ケ. 魚や海藻類の繁殖を助ける コ. 生活環境に安らぎや美しい景観を与える サ. レクリエーションの場を提供する シ. 木材などの生産・供給の場となっている⇒需要が少なく働く人がいなくなり森が荒れてしまった。

3.神奈川の森林と水源林、水源について川、ダム、給水経路等 ⇒小田原は異なるので小田原については浄水

場や飯泉取水堰についても。

4.かながわ森林インストラクターのやっている事を紹介

○最後に小田原提灯をみせ、アイデアと木からできてい る、用水等小田原は江戸の町づくりのモデルとなった事を 話し小田原をもっと誇りに思ってくださいと言ったら生徒は ビックリしていた。

(記 松本 保 11)

かながわしずくちゃん Facebook は下記URLで見ることができます。 かながわの水源環境の 保全・再生をめざして https://www.facebook.com/kanagawa.sizuku

◆ 工藤建設(株)平成31年度 新入社員研修

|日 H31 年4月 5 日(金)10:30~12:30、 晴れ

場 南足柄市塚原ボランティアフィールド

参 32 名

県 中田様、新谷様、林様

L佐藤⑤、永野⑥、小野⑦、齋藤⑧、小沢⑨、 福島(1)、牧石(4)

リーダー役の上田さんが急遽不参加となったが、社員と して参加された永野さんのご協力により予定通り7班編成 で間伐と枝打ちが行われた。当日は新入社員研修の一環 でスタッフを除く参加者は全員希望に満ちた若者ばかり、 林間に若やいだ声が溢れ元気一杯の作業体験となった。

対象地は樹高8m前後のヒノキ林で樹間も狭く多くの伐 倒木が掛かり木となる事が予想されたが緩傾斜地で足場 も良く対象木の径も小さいので初めて体験する参加者も 受け口・追い口作りの鋸作業が楽しく体験出来たと思う。唯 林内が混みあっている為予想通り掛かり木が多発。

選木した2本の処理が済んだ班は枝打ちヤードに移動 して枝打ちも体験、予定時間には全員集合場所に戻り道 具の手入を実施した後、参加企業等の総合看板に社名板 を取付け、その前で記念撮影を行い活動は無事終了。

駐車場脇の満開の桜に送られてバスは次の目的地へ。 我々インストラクターも道具を収納、昼食後13時半過ぎ解 散したが天候に恵まれ事故も無く快適な活動日でした。

(記 小野 幸広 ⑦)

自然観察会「21世紀の森の山野草観察・桜の観賞」

日 H31年4月6日(土)10:00~15:00、 晴れ

南足柄市内山 県立21世紀の森

4名(大人) 名(安2名)

スタッフ 21 世紀の森 加藤様 他 2 名

イ L 杉崎⑩

満開の桜(マメ、オオシマ、ソメイヨシノ、ヤマの一気咲き) やコブシの花の下、お尻をあげ、地を這って、虫メガネを 目に当てて獲物を探す。…われらは「年輩探偵団」。



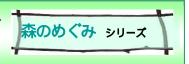
早春に花開く妖精たちの究極の繁殖戦略を見極めんと、 ガキの頃のように頬が火照る。

午前は森林館や木材工芸センター周辺から子供の広場。 森林ふれあいセンターで昼食後、カシの木の森から運動 広場を経て林間広場と行動範囲は広くはないが、たっぷり 時間をかけて五感で味わう。

参加者は小学校の学校行事と重なったとかで、例年にな く少人数だったが、それゆえコミュニケーションが図れ、気 軽く愉しい活発な観察会でした。

(記 杉崎 恒三 (10))

森のめぐみの掲載は、 今月号はありません。 次掲載は6月号です。



第29回森と花の祭典 みどり の感謝祭



名 称 みどりとふれあうフェスティバル

日 時 5/11(土) 11:00~17:00 5/12(日)10:00~16:00 ※雨天決行、荒天中止(その場合は、公式サイトに表示) 場 所 東京都立日比谷公園 にれのき広場等 入場料 無料

主 催 みどりの感謝祭運営委員会 内容・キッズ向けプログラム・大人も楽しいプログラム ・ステージプログラム ・食べて楽しむプログラム

みどりの感謝祭ホームページ

(http://midorinokanshasai.com/)

やどりき水源林ミニガイド

4月のトピックス

ヤマブキ、ミツバツツジが満開でした。 ヤマブキとやどりきブルーのコラボレーション



(撮影:末原じ 林道コース終点)

5月の水源林

春まっただ中です。花の競演がやって きました。ウツギの花が見ごろです。 川も緩み、川遊びができます。 皆さんいらっしゃい!!

「森の案内人」情報

案内人も張り切ってお待ちしています。

- ●実施時間:毎週土曜・日曜・
- AM10 時·PM1 時, 1~2 時間程度
- ●集 合:水源林入口ゲート前
- ●内容:森林インストラクターが自然 観察にご案内します。森林のしくみ 手入れなどについて説明致します。 参加自由、参加費無料
- *10人以上の団体は事前に下記までご 連絡ください。
- ●問合せ:(公財)かながわトラスト みどり財団 TEL: 045-412-2255 FAX: 045-412-2300
- ・ ホームページ : http://www.ktm.or.jp

http://ktm.or.jp/contents/event/h27/yadorikih27.html

E-mail: midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線松 田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどり き) | 行き乗車約25分。

バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩35 ~40分。

寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内



🥔 神奈川県立 生命の星・地球博物館

企画展「箱根ジオパーク展 ~身近 な火山と友だちになる~」

開催期間:3月2日~5月12日 併せて、

「箱根ジオパーク」エリアの2市3町 (箱根町・小田原市・南足柄市・真鶴

町・湯河原町) に広がる49の 魅力スポット (ジオサイト))の 紹介をはじめ、 世界や国内の ジオパークを

知っていただく 展示としています。

http://nh.kanagawamuseum.jp/index.html

◇ 森のなかま原稿募集 会員読者の皆様から広く募集しています。 <広報全般についてのお問い合わせ> 松本 保

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 笠原かずみ

Mail: happy_kumakuma711@icloud.com

Tel: 090-4137-9265

<メール・手書き原稿送り先> 【本誌】松本 保

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先:090-7962-3168 Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】黒川 敏史

〒247-0066 鎌倉市山崎 2273-1-515

Tel: 080-5477-2206

Mail: kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

【別冊は CC を】 福島 正治 (事務局長)

〒214-0006 川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204 Tel/Fax: 044-944-9423

Mail: fukky52000@yahoo.co.jp 原稿は随時受付けています。

(ホームページ) http://www.forestkanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01 (HP 担当: 井出恒夫)

森のなかまは過去号もご覧になれます。

編集後記

★今年の GW は、新しい元号『令和』を 迎えて10連休ですね。こんなに纏まった 休暇は久しぶりです。新しい元号になっ て、気持ちもリフレッシュしたいです!

(笠原)

★職場から見える運河に集合した約500 羽の渡り鳥キンクロハジロが飛び立って いきました。と思ったら20羽ぐらいが1 週間ほど、ぐずぐずしています。何か事 情があるのかな。

★3/末の高尾山:一丁平はまだ開花 前。再度4/15に「早朝ぽっち登山」して きました!こぶしと桜が満開、富士山もバ ッチリでした。



(阿藤)

★これが皆さんの目に触れるときはもう 「令和「」の年号なんですね。

まだなんとなく慣れない単語ですが、「平 成しの時、最初は慣れなかった。そのうち 違和感がなくなるのだろう。 でも、「光陰 矢の如し」ですねえ。

(吉田)

★新元号は令和。万葉集にある歌の序 文「初春(しょしゅん)の令月(れいげつ) にして、気淑(きよ)く風和(やわら)ぎ、梅 は鏡前(きょうぜん)の粉を披(ひら)き、 蘭は珮後(はいご)の香(こう)を薫(かお) らす」(書き下し文)からの二文字から。

(松本)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、 郵便局備付けの郵便振替を利用してお 申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛まで 2000円をお振込み下さい。振替用紙に は、必ず、住所、氏名を明記して下さい。 振替用紙到着の翌月号から12回/1年 間お届け致します。

編集人:松本 保 事務局:福島正治

広報部: 薗田栄哉 吉田郁夫 黒川敏史 笠原かずみ

加藤優美阿藤壽孝、竹内明彦 支援:伊藤恭造 大原正志 江頭淑子

募集中「森の案内人特別企画 |無料☆要申込 やどりきの森へ行こう!

第1回テーマ「緑したたる森で癒やし体験」

~林道を歩きながらセラピー&リラックス~



場所:やどりき水源林 小田急線新松田駅北口 集合・解散(8:30~15:10頃)

問い合わせ先: 公益財団法人かながわトラストみどり財団 (Tel: 045-412-2255)

申込先: NPO 法人かながわ森林インストラクターの会

E-Mail: k-inst0981@friend.ocn.ne.jp